

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 家畜における致死暴力的の起源の解明と制御

2. 研究代表者： 新村 毅（東京農工大学 農学部 教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、共食いなどに代表される家畜の致死暴力的の分子基盤を解明し、家畜化の起源を明らかにすると共に、問題行動の制御を目指すものである。

フェーズ1ではニワトリの攻撃的行動に関わる候補遺伝子を取得しており、ニワトリの暴力化について、そのメカニズムや遺伝的伝播の解明に向けて当初計画に沿って順調に研究が進展している。フェーズ2の研究計画においては、ニワトリの行動制御のメカニズムを解明し、社会実装を目指す道筋まで示されている。暴力性に関わる分子の解析やゲノム育種には困難も多いと推察されるが、致死暴力的の低い新品種の創出を目指し、将来的には動物福祉の実現につながる家畜飼養管理システムの構築をもたらすような社会実装成果を期待する。

以上